

3A (ありがとう、あいさつ、当たり前前を当たり前前までできる赤学年)

令和5年4月7日発行 第1学年 学年通信 NO.1

ご入学おめでとうございます

新入生の皆さん、ようこそ舞岡中学校へ！皆さんと一緒に過ごすことになりました学年主任の古屋 智（ふるや とも）です。本日入学式を無事に終え、今の心境はどうですか？小学生から中学生となり、ワクワクしている人もいれば、不安な人など人によって様々だと思います。しかし、最初はみんな一緒です。**新たな環境で、新たなことに自分から積極的に挑戦してください。**そして、日々の生活を大切に、立派な大人になれるようにしましょう。応援しています🍀

さて、この学年通信を作成するにあたって、題名を「**3A(ありがとう、あいさつ、当たり前前を当たり前前までできる赤学年)**」にしました。その理由は、「**感謝の心、開く心、自立する心**」の3つの心を育てほしいという思いで作りました。では、詳しく説明をします。

一つ目の「**感謝の心(ありがとう)**」です。皆さんは誰かに助けてもらった時や何かしてもらった時に「ありがとう」という言葉をすぐに出せますか？「ありがとう」と言われて嫌な気分になる人は絶対にいないと思います。つまり、「ありがとう」という言葉は魔法の言葉なのです。そして、人を幸せにする言葉でもあります。この「ありがとう」という感謝の言葉がすぐに出せるような人に成長しましょう。また、言葉だけではなく、感謝の思いを行動に表わせることのできる人になってください。

二つ目の「**開く心(あいさつ)**」です。よく挨拶をしなさいとよく言われますが、なぜでしょうか。理由としては3つあると私は考えます。

1つ目は、「**挨拶はコミュニケーションの基本、入り口だから**」と考えています。私たちは、家族や友人、同じ目的を共有する仲間や、また初対面の方とも、相手を尊重しながら、お互いの考えや思いを伝え、理解し合おうとします。それがコミュニケーションですよね。家庭においても、社会においてもコミュニケーションは必須のもの、なくてはならないものですが、それぞれの場面に合わせて、適切な挨拶が出来れば、速やかに、そして、滑らかにコミュニケーションに入っていけるのです。適切な挨拶が出来ることは、コミュニケーション能力のとても大切な部分を占めるものであることを知ってください。

2つ目は、「**挨拶には人間関係のわだかまりをリセットする力がある**」ということです。日々行われるコミュニケーションの具体的な場面では、いつもうまくいくとは限りません。熱心に意見を交換しているうちに、意見が食い違い、気まずい雰囲気、その日は解散ということもあるかもしれません。わだかまりを残した気持ちがするでしょう。でもそんな時、翌日の朝に、いつものように、お互いの目を見て、「おはよう」や「おはようございます」と言えたらどうでしょう。ほとんどの場合、前日の「わだかまり」は消えてしまうと思います。それで意見の食い違いが解決するわけではありませんが、話し合いが再開できなくては何も始まらないのです。また改めて、コミュニケーションを再開する準備が出来るのです。「挨拶」には、人間関係のわだかまりをリセットする力、人間関係を滑らかにする力があるのです。

3つ目は、「**挨拶ができることは社会人に求められる人間力の1つだ**」ということ。皆さんは、いずれ社会に巣立って行きます。そして、ほとんどの皆さんがどこかの企業に就職することになります。その企業が必ず求める人材の条件に「コミュニケーション能力」があります。

→ 裏面に続く

それ以外にも「基本的な生活習慣がしっかりしているかどうか」（時間が守れる・自己管理ができる）や「責任をもってやり遂げる力を持っているか」などもあります。しかし、「コミュニケーション能力」には特に大きな比重を置いています。その能力の基本である「挨拶ができるかどうか」を企業は見極めようとしています。挨拶が出来ることは大切な人間力の1つなのです。「挨拶」は急には出来ないのです。身に付いているからこそ、いつでも発揮できるのです。企業や社会はそれを見ているのです。皆さんの言動は、必ず誰かが見ていてくれて、気がついて、評価してくれます。「挨拶ができる力」は皆さんの生涯の財産になることを、強く意識していただきたいです。

最後の「**自立の心(当たり前のことを当たり前に行う)**」です。二つ目の「開く心(あいさつ)」でも書きましたが、皆さんは義務教育が終われば、社会に出ていかなければいけません(高校生からアルバイトができますからね)。社会に出れば、自己管理能力や自己解決力など自分自身で様々なことに対して、対応をしていかなければなりません。そのためにも、この中学校3年間で「**自分のことは自分で確実にやる**」ことがとても大切になります。しかし、これからの中学校生活の中で、「**当たり前のこと**」は何でしょうか。その答えは、「忘れ物をしない」や「整理整頓」、「服装をきちんとする」、「授業を大切にすること」、「清掃活動に取り組む」など基本的なことです。この基本的なことが社会においては、基礎となります。つまり、自分自身の土台となります。なので、この土台を粗末にはできませんね。土台がしっかりとしていないと活躍はできません！！

長々となりましたが、これらの**3つの心**を**3年間**で育み、最高の**赤学年**(ちなみに皆さんは、赤学年です。上履きのつま先が赤いですよね?)になってほしいという想いが込められています。

【学年として大切にしてもらいたいこと】

- ① 授業も、清掃活動も、係や委員会も、部活動も、学校行事もすべてを全力で取り組みましょう
- ② 人それぞれ性格や特徴は異なります。仲間を認め、受け入れる心を大切にしましょう
- ③ 自分だけでなく、相手のために、全体のために行動できる人になりましょう。
- ④ みんなで楽しむために、一人ひとりがルールを守り、我慢をすることは我慢しましょう
- ⑤ 困難にぶつかった時こそ自分が変わるチャンスです。目を背けずに、前に進みましょう

最後に私からこれから新しいスタートをする皆さんに贈る言葉があります！(私、名言が大好きなんです…。随時紹介させていただきます。スペースがあればですが…)

「始めるから始まる」

すべて、初めは危険だ。しかし、とにかく始めなければ始まらない。

(「ニーチェの言葉」より引用)

保護者の皆様へ

本日はお子様のご入学おめでとうございます。学年主任の古屋 智と申します。これからこの学年通信を通じて、学年の様子などをお伝えできたらと思っています。お忙しい中とは思いますが、目を通して頂ければ幸いです。職員一同、力を合わせて子ども達が活躍できるように全力でサポートをしていきますので、本校の教育活動にご理解とご協力の程よろしくお願ひします。

また今後、PTA 活動などでご協力をいただくことがあるかと思ひます。子ども達にとって、より良い教育活動が展開できるように保護者の皆様のご理解とご協力をお願ひ致します。